

なりふしぽ 創刊号

長岡市立中央図書館 友の会会報

なりふ（NAGAOKA LIBRARY FRIENDS）とは、長岡図書館友の会のことです。

～友の会会長の挨拶～

友の会初めての会報です。「小さい会ながら考え、皆さんに発信していこう」という会員からの提案により発行に至りました。この会は、図書館が好きな人の集まりによって発足され、市民が足を運んでくれる利用しやすい図書館作りの一助になれば…と活動しています。今、図書館は変わろうとしています。そのために会員同士の交流を持ち、積極的に意見を反映して今まで以上に図書館の力になれる会を目指したいと思います。会員の皆さん、視察研修やエコ・ブックフェア等に参加し、協力して楽しく活動していきましょう。

（恩田里士）

活動紹介1 <イベント・館外活動>

エコ・ブックフェア

図書館では、不要となった資料を無償でお譲りする、なりふ共催のエコ・ブックフェアが毎年開催されています。

中央図書館2階の美術センターや合併地域のイベントなどで行なわれ、なりふでは準備や当日の受付等の協力を行なっています。

6月14（日）には、観光物産フェアとちお自慢市（会場：道の駅R290 ちお）で開催され、家族連れや児童など400名以上の方の来場があり、1,574冊の資料をお持ち帰りいただきました。



互尊翁銅像清掃

互尊翁とは、長岡市立図書館のルーツである互尊文庫の建設費と維持費を寄付した、野本恭八郎氏のことです。

昨年、長岡市立図書館が創立90周年を迎えたのをきっかけに、会員有志で互尊文庫の互尊翁銅像清掃と周りの草取りを始めました。

今年は5月に、事務局と3名の会員が参加して行いました。

参加した方によると、終わったあとは気持ちが良い、銅像がなんだか微笑んでいるように見えたそうです！！



研修旅行

毎年、他市町村図書館等の視察研修を行い、当地のボランティアと交流を深めるといったこともしています。

今年は、南魚沼市立図書館へ行きました。館内は狭いながらもぎっしりと本が並んでおり、利用者も大勢いらっしゃいました。本をシリーズごとに集めてコーナー作りをするなど、利用者目線での配架がされていると感じました。その後、坂戸城跡、鈴木牧之記念館、雲洞庵を見学し、同市の歴史や文化に触れてきました。



活動紹介2 <館内活動>

書架整理

書架整理とは、返却された本を棚に戻す仕事のことで、そのお手伝いをします。

中央図書館はとても広いので、初めのうちは棚を覚えたりするのが大変かもしれません。ですが、いろいろな本に触れることができるととても楽しくやりがいがあります。いつもは立ち寄らないジャンルの棚に行ってみて、今まで知らなかった面白い本に出会うことも多々あります♪

活動日や時間は会員それぞれの都合に合わせて、自由に行うことができます。本と触れ合える良い機会になると思います。

なりふ会員であれば誰でも行うことができます。興味のある方はぜひ一緒にやってみませんか？お待ちしております♪



読み聞かせ

「この本おもしろーい」「もう一回読んで」「わあ、びっくりした」おはなしの部屋から聞こえてくる子どもたちの声。話の世界に入っている子どもたちの顔は真剣そのものです。お話ボランティアは、読み聞かせを通して子どもたちと本との橋渡しのお手伝いをしています。



嬉しくって楽しくなっちゃうお話、どきどき、わくわくするお話、そして、じんわり、あったかくなっちゃうお話など季節やテーマを考えて選書をしています。

読み手と聞き手と本とが一体となったとき、なんとも言えない幸せな気持ちにさせてもらえますよ♪

あなたも図書館の友の会に入ってみませんか？

対象：活動の趣旨に賛同してくださる、15歳以上の方

年会費：一般会員 500円

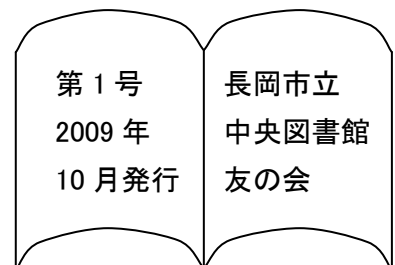
賛助会員 1,000円

※ボランティア保険は、任意で加入できます。

申込：入会希望の方はカウンターまでお越しください！

お問い合わせは、下記電話番号へお気軽にどうぞ。

長岡中央図書館内 長岡図書館友の会事務局 TEL 0258-32-0658



第1号

2009年

10月発行

長岡市立

中央図書館

友の会

図書館友の会(なりふ)

設立時期：平成14年8月

会員数：61名

※H21.9月現在



平成21年10月1日発行

編集・発行：図書館友の会(なりふ)

編集員：大谷地・多田